

# 東映衛星放送株式会社

## 第19回番組審議委員会議事録

開催日時： 令和5年11月8日（水） 14時00分～15時00分

開催場所： 銀座 Sun-mi 本店

委員の出席： 委員の総数 8名 出席委員数 7名

出席者：

（番組審議委員）

■出席： 脇田巧彦（委員長）、有山弘道、秋本鉄次、常見美佐子、赤城聡、杉恭介、三浦理高

■欠席： 伊藤さとり

（以上 敬称略）

（放送事業者側出席者）

取締役会長	香月純一
代表取締役社長	鈴木英夫
取締役衛星事業部長兼管理部長	山本健太郎
管理部管理室長	大越鉄平
衛星事業部編成室長	今森泰一朗

議題： 「東映チャンネル」の編成内容に関する審議

放送事業者側出席者より、東映チャンネルの現況、直近一年間の編成内容に関する説明の後審議に入った。

<番組審議委員の発言>

1.番組と番組の間に放送される東映チャンネルの情報番組（シネマ・チョップ等）は質が高く評価している。出演される俳優の方々の幅が広く、「がんばれ！レッドビッキーズ」の林寛子さんなど、他ではなかなか見られないような方のインタビューなどがあって楽しませている。

女優さんによっては顔出しでの出演が難しい方もいる可能性もあるので、今後オーディオコメンタリーでの出演なども検討していただきたい。

《放送事業者側からの回答》

「貴重なご意見として承り、今後検討したい」

2.CS放送でのCMによる広告収入も期待できるのでは？

《放送事業者側からの回答》

「CMによる広告収入は安定的な収入につながるなので、その収入を番組編成の充実などに活

用し視聴者の方々によりよい番組を提供できるようにしていきたい。」

3.9月放送の「関東大震災100年【関東大震災とその時代】」の特集は切り口が面白かった。その中でも「大虐殺」の放送は新鮮であった。Blu-rayの発売もない作品でありHDで世に初めて出たという意味でも貴重である。

4.10月放送の「サーカス作品特集」の中では「狼少年ケン」など懐かしいアニメのエピソードが見られて楽しませていただいた。

主題歌などに特別な思い出があるので、懐かしいアニメ作品の主題歌集などの企画も検討してみてもどうか？

《放送事業者側からの回答》

「貴重なご意見として承り、今後検討したい」

5.お子様向けのアニメ作品からお父様向けのお色気作品まで、非常に幅広いラインナップが朝から深夜まで放送していることも東映チャンネルの魅力の一つと考えている。

現在、地上波放送ではない時間帯によるラインナップだと思うので、継続していただきたい。

以上